



松野正紀事業管理者(右から4人目)に
タオル帽子を手渡す八戸学院大の学生

タオル帽子が がん患者に

八学大生が中央病院に寄贈

十和田

役立ててもらおうと、初めて寄贈することを決めた。

八戸学院大健康医療学部看護学科のサークル「アースワールド」(工藤柚美香部長)は14日、十和田市立中央病院に対し、脱毛に悩むがん患者や高齢者向けに、学生が製作したタオル帽子70枚を寄贈した。

同病院はがんによる苦痛を和らげる緩和ケアを推進。学生の実習も受け入れていることから、同サークルはタオル帽子を

工藤部長は「一つ一つ手作り。患者のために使ってほしい」と述べた。

(工藤洋平)